

官民連携まちづくり勉強会 ～エリアプラットフォームで描く春日部の未来～

2025年9月25日



官民連携まちづくりの推進及び情報発信を目的として、
会場内での記録写真・動画撮影、並びに参加者へのインタビューを行う可能性があります。

それらの内容は、春日部市が発信する広報媒体（市報、ホームページ、SNS等）にて、
紹介させていただく場合があります。

甲府や武蔵小杉など他地域での実践事例を参考にしながら、

エリアプラットフォームを中心に官民連携まちづくりが**どのように進んでいくのか**を学ぶ

ご自身がエリアプラットフォームに**どのような関わり方**で参加できるか

参加することで**どのようなメリットがあるのか**を具体的にイメージする

「こういうことをチャレンジしたい!」「仲間を見つけて取り組みたい」「こんな形なら参加できそう」など

参加者の皆様の**声を集める**

1.はじめに(目的・振り返り)

2.エリアプラットフォームの体制

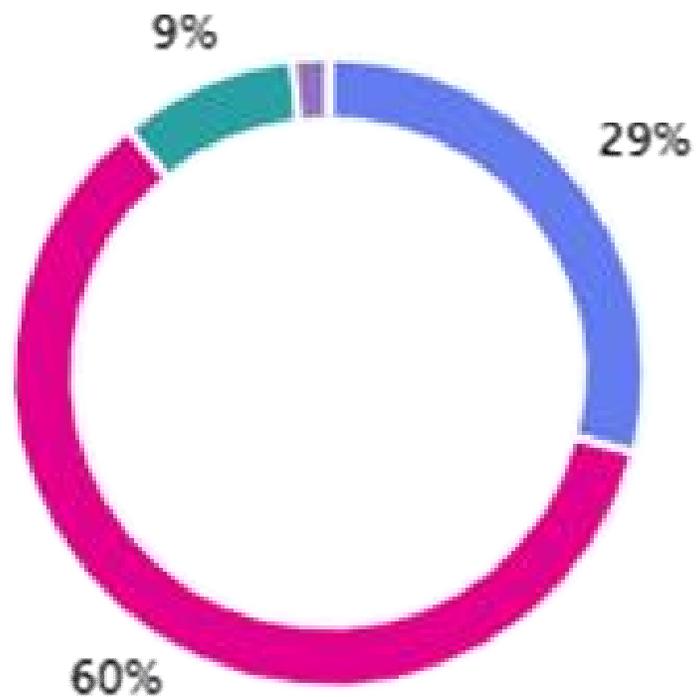
3.事例紹介

- ① 株式会社GrooveDesigns 三谷代表
- ② 一般社団法人エリアマネジメントラボ 谷村理事

4.質疑応答

5.アンケート回収

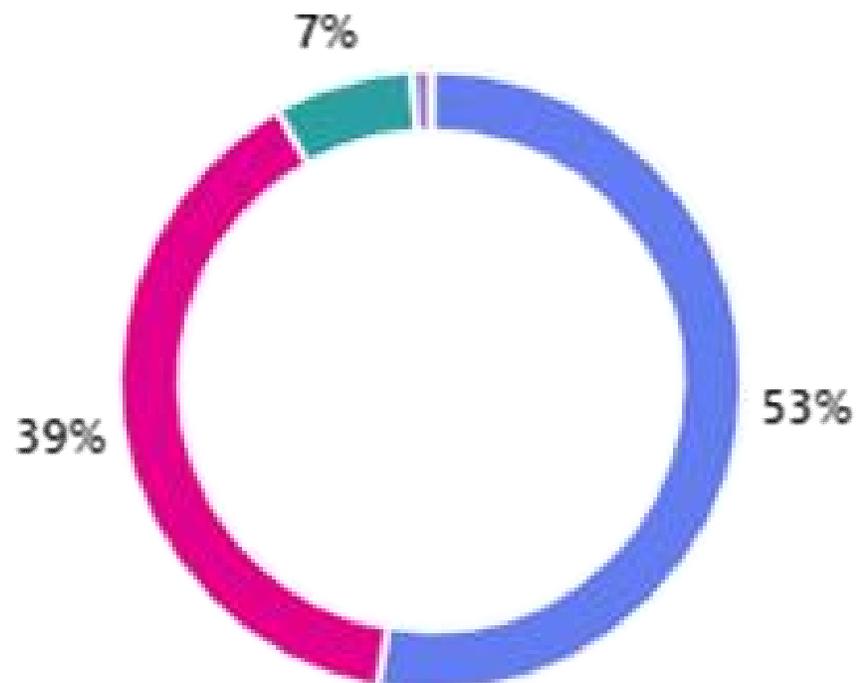
Q.説明会の内容について、どの程度理解できましたか？



理解度 **89%**

● とてもよく理解できた	32
● 概ね理解できた	66
● 一部理解できなかった	10
● ほとんど理解できなかった	2
● その他	0

Q.説明会の内容は、あなたにとって興味深いものでしたか？



興味あり **92%**

53%が非常にそう思う

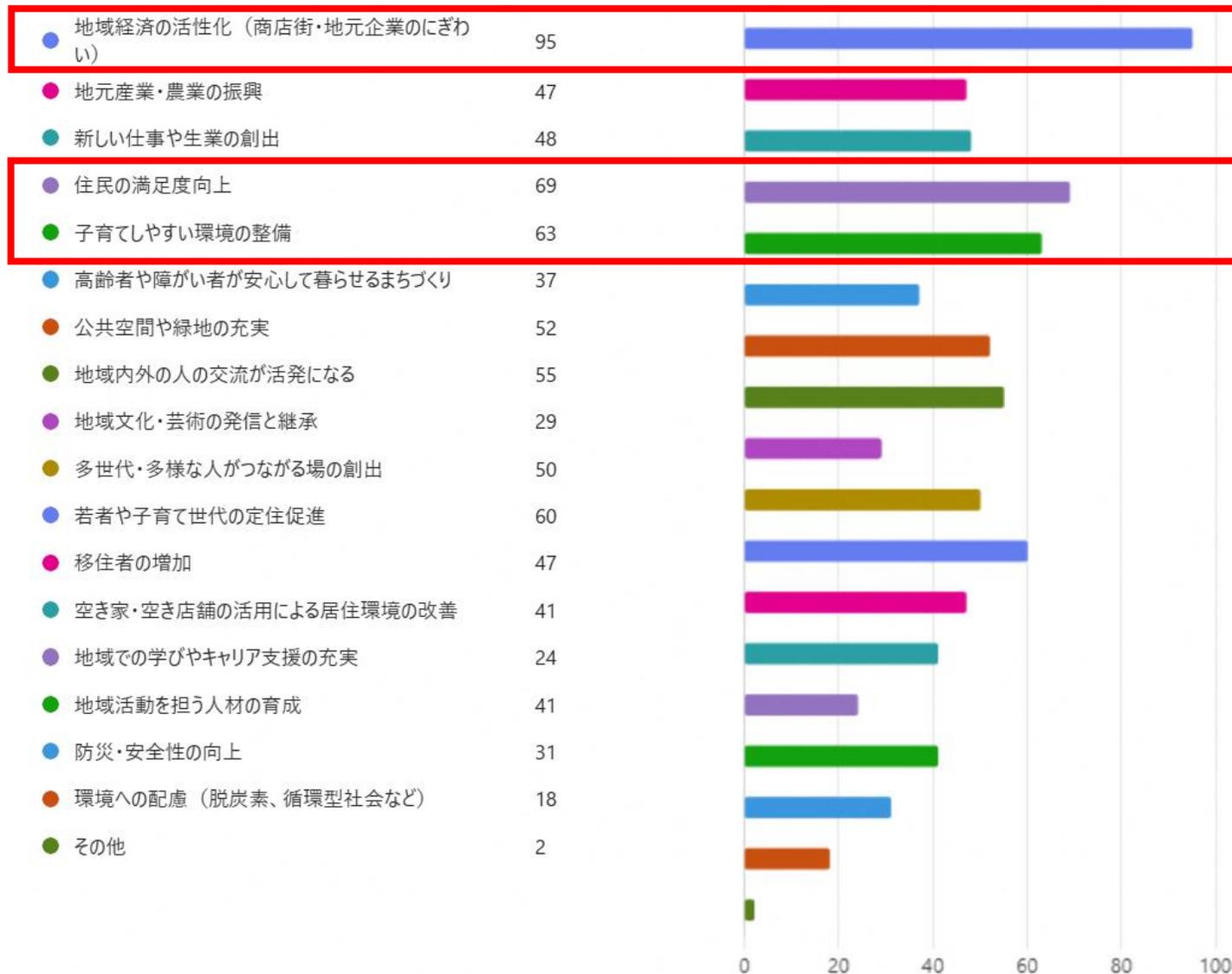
● 非常にそう思う	58
● そう思う	43
● どちらとも言えない	8
● あまりそう思わない	1
● 全くそう思わない	0

- ・ 官民連携によるまちづくりへの期待
- ・ 春日部市の将来像や具体的な取り組みへの理解が深まったこと
- ・ 自身の生活圏や事業との関わりからの関心
- ・ エリアプラットフォーム構築への参加意欲
- ・ クレヨンしんちゃんなど地域資源の活用への期待

Q.春日部が将来的にどんな街になっていたら良いと思いますか？(回答数110件)

no	テーマ	主な意見・キーワード
1	子育てしやすい街	子育て世代が集まる、安心して子育てできる、地域全体で子育て
2	賑わい・活気のある街	駅前や商店街がにぎわう、人が集まる、活気を取り戻したい
3	若者が集まる街	若者が住みたいと思える、高校生・大学生が集まる、カルチャーのある街
4	安心・安全・住みやすさ	安心して暮らせる、住みやすい、幸福感のある街
5	交流・つながりのある街	世代間交流、あいさつができる街、縦のつながり
6	自然・文化・歴史との共生	田園風景、緑豊か、歴史文化を活かす
7	誇り・愛着を持てる街	自慢できる地元、好きな街、語れる街
8	観光・外部からの訪問	観光客が来たくなる、春日部ならではの魅力
9	経済・商業・企業活動の活性化	商店街の再生、企業活動の活発化、衣食住が整う街
10	持続可能・未来志向の街	持続的な発展、次世代のため、未来を描ける街

Q.春日部のまちづくりによって、どんな具体的な効果や変化が生まれると良いと思いますか？



- ①経済活性化
- ②住民の満足度向上
- ③子育て環境の整備
- ④若者・子育て世代の定住
- ⑤地域内外の交流



エリアプラットフォームで
どんな活動が有効か？

鉄道の高架化から始まる 「これからのまちづくり」のために

あくまでも現時点での「案」です。

春日部ならではのエリアプラットフォームをどのように構築していくか・どんな取り組みをしていくか
皆様のご意見や、専門家のアドバイス、先進事例を参考に、ブラッシュアップしていきます。

学び・対話をしながら、共に創り上げていきましょう!

まちづくりや地域課題解決に関心のある企業、商工団体、住民などが集まって、まちの将来像を議論し描き、その実現に向けた取り組み(=まちづくり)について、協議・調整を行う場です。



まちづくりに関心のある人



まちの将来を議論



まちづくりの実践



エリアに関わる様々な仲間と集まり協議をすること



まちづくりに関する実績を有する専門人材からの支援を受けていること



エリア価値の向上と将来像の実現が目的であること



緩やかな協議の場であること

引用元:国土交通省都市局まちづくり推進課 まちづくりの可能性を広げるエリアプラットフォームより
https://www.mlit.go.jp/toshi/file/useful/%E2%91%A42023_%E3%82%A8%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%A9%E3%83%83%E3%83%88%E3%83%95%E3%82%A9%E3%83%BC%E3%83%A0.pdf

掲載URL:官民連携まちづくりポータルサイト
<https://www.mlit.go.jp/toshi/useful/>

エリアプラットフォーム(本体)

中心メンバー合計20名程度

大学

専門的な立場として、参画・支援

商工団体

まちづくりのノウハウやネットワークを活かした活動支援など

地元企業

事業活動の知見を活かし、地域経済の持続的な発展を目指す。各部会と連携し、まちづくり活動を主体的に推進/協力。

行政など

まちづくりに関する施策との連携、取組へのサポート

各部会代表

リーダー/サブリーダー/運営事務などの役割を担い積極的に活動する中心メンバー

中間支援組織

Culture Convenience Club Co., Ltd.

カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社

部会A

まちづくりプレイヤー

部会B

まちづくりプレイヤー

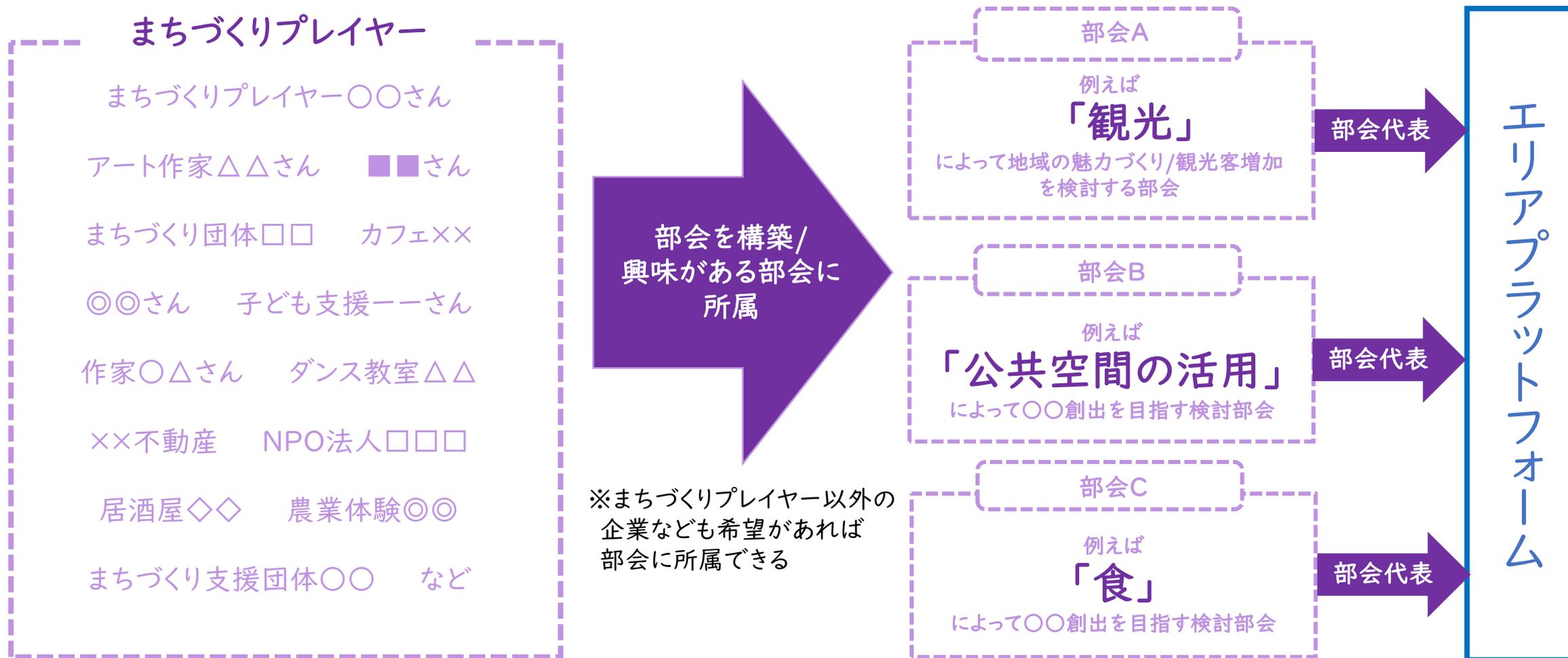
部会C

まちづくりプレイヤー

部会...

まちづくりプレイヤー

部会とは、**テーマ**や**目的**ごとに集まり、**自主的**に活動や事業を考え実践するグループ(プロジェクト)
ある程度**自由に部会に参加・退会**できる環境を構築する



中心市街地まちづくり計画における将来像との適合を確認し、
関係機関や関係住民と連携して、官民連携まちづくりを進めていく

春日部市中心市街地まちづくり審議会
(春日部市中心市街地まちづくり計画)

報告 ↑ ↓ 確認

まちづくりの
推進組織

まちづくりの
実行組織

関係機関

- ・国土交通省
- ・埼玉県 など

関係住民など

- ・自治会
- ・まちづくりに興味のある住民 など

連携

かすかべエリアプラットフォーム(案)

エリアプラットフォーム(本体)

大学

商工団体

地元企業

行政など

各部会代表

中間支援
組織

部会A

部会B

部会C

部会

エリアプラットフォーム(部会)

推進組織: 中心市街地におけるまちづくりの基本的な方針を示し、施策や計画を審議する組織

実行組織: まちづくりの基本的な方針に沿ったまちの実現に向けて、具体的な役割などを示し、実践していく組織

官民連携まちづくり

エリアプラットフォーム
フォーム
(本体)

共同体

エリアプラットフォーム
フォーム
(各部会)

その他、エリアプラットフォーム以外の住民・企業・まちづくりの関係者

- ①まちづくりは継続的な取り組みであるため、**将来を担う世代（20～40代）を中心に構成しつつ、世代を超えた多様な視点を取り入れながら進めていきます。**
- ②**機動力のある運営**を実現するために、エリアプラットフォーム本体は**少人数**で構成し、**意思決定の迅速化**を図ります。
- ③**多様な方々**（まちづくりプレイヤー・企業・学校・団体など）がそれぞれの関心や専門性を活かして参画できるよう、**テーマ別の「部会」**を設け、**幅広い参加の機会**を創出します。
- ④まちづくりに関心のある方が気軽に参加できるよう、部会の制度設計を工夫し、**柔軟で参加しやすい仕組みづくり**の検討を進めていきます。

STEP
01

説明会(8月25日)

応募者全員を対象

- 中心市街地の現状と課題
- 官民連携まちづくりの推進
- エリプラ構築に向けて

勉強会(9月25日・10月16日)

説明会参加者約110名を対象

- エリプラの理解促進
- 先進事例の学習/現地視察
- エリプラ/部会の構築検討

準備期間



8月~10月

STEP
02

ワークショップ(11月~12月)

- 中心メンバーの人選/役割設定
- 部会の設立に向けたワークショップ
- 運営ルール・規約の作成

計画期間



11月~12月

STEP
03

構築報告会(1月~3月)

- エリアプラットフォームの構築報告
- 部会の設立開始

実施期間



1月~3月



※ワークショップや構築報告会の開催時期については、今後の進捗によって変更する可能性があります。

1.はじめに(目的・振り返り)

2.エリアプラットフォームの体制

3.事例紹介

- ① 株式会社GrooveDesigns 三谷代表
- ② 一般社団法人エリアマネジメントラボ 谷村理事

4.質疑応答

5.アンケート回収

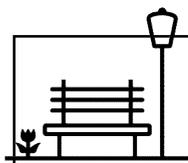
本日の狙い



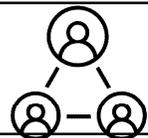
エリアプラットフォーム構築に向けて、事例をもとに理解を深める



大まかな流れ・体制と役割・参加メリットなどを学び、**実現したいことや関わり方**を考える



10月16日 勉強会第2弾 現地視察（松本城三の丸エリアプラットフォーム）



エリアプラットフォームの中心メンバー（部会リーダー/運営メンバーなど）を募集



対話型ワークショップなどを通じて、基本方針策定・部会構築の検討



26年1～3月 エリアプラットフォーム構築報告会 開催予定

年内の動き

みなさんが主役です

ここまでお伝えした内容は、あくまでも現時点での「案」です。

春日部ならではのエリアプラットフォームをどのように構築していくか・どんな取り組みをしていくか
皆様のご意見や、専門家のアドバイス、先進事例を参考に、ブラッシュアップしていきます。

学び・対話をしながら、共に創り上げていきましょう！

右記QRコードより、
アンケート回答のご協力をお願いします
※本日の回答が難しい場合、9月28日(日)まで



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です